

2日目  
第五部

# 質保証に関する 今後の目標設定等

平成23年3月11日  
於・シーサイドホテル舞子ビラ神戸



中崎 修一 先生

みなさまお疲れ様です。長いパネルディスカッションの後の時間なんですけれども、ここでは、質保証に関する今後の目標設定等かたいことが書いていますが、今回先生方に議論いただきまして、質保証の話に行く前に議論が白熱されて質保証の話にはあまり行かなかったということです。ここでは、質保証に関するアンケートはあまりないので、今回2日間にかけて先生方、C-PLATSということいろいろあったかと思っています。それにかかわるさまざまな諸問題も出ておりましたので、そういったことにつきまして先生方のお考えを前に表示させてみたいそのように考えておりますので、よろしくお願いいたします。

これから何をやるということですが、入口等でお配りしておりましたこちらのクリッカー、これを使いまして各種アンケートを前に提示しますので、先生方のこれだという番号を押していただきたいと思います。すべて選択問題として1番3番4番と番号が出てまいります。この装置の該当する数字のボタンを押してもらったらけっこうです。注意点としては、集計のタイミングというのがございまして、私のほうから、では押してくださいという指示をお願いします。それから押してください。あと集計は終わりですというタイミングまで何度も押してもらうことは可能です。一番最後に押された番号が集計の番号となりますので、間違われた際も焦らず押しおしてください。あと、このクリッカーを使って23年経ちますが、さまざまな経験で、個人が特定されますので、慎重にお答えいただけたらと。というのは冗談で、今回は

まったく特定されませんので、合計しか集計されませんので、お配りする際も適当に取っていただいたかと思うので、誰が何をしたかわかりませんので、正直にお答えいただけたらと思います。初めての方もいらっしゃると思いますので、まずは練習のアンケートを行いたいと思います。あくまで練習ですので、前に出てくるものは何でもよかったんです。ですから文章は読んでいただかなくてけっこうです。ただまじめに答えたいという方はぜひ押していただけたらと思います。ではお願いします。

練習のアンケートなのですが、大学には言えない秘密が、まったくないという方は1番、少しあるという方は2番、それなりにあるという方は3番、いっぱいあるという方は4番を、では押していただけますでしょうか。一番上に小さくレスポンス数というのが出ておりまして、お答えいただいた方の人数が出るのですが、84ですね。はい、では落ち着いたようですのでこれで結果を見てみましょう。

かなり平均的になりましたが、沢山あるという方も4分の1ほどで、あくまで練習ですので、本当に秘密があるかどうかはどうでもいいことなのですが、まあこんな感じで集計していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

これからは練習ではなくて、こちらで用意したアンケートに答えていただきます。いきなり硬い質問になってしまいましたが、これまで先生がた、授業をされてきて、これまですでにPBLを実践してきたかということ、アンケートをとりたいと思います。

これまで積極的に実践してきたという人は1番、実践はしてきたけどいろんな事情で今はやめているという人は2番、実践したことはない、これから実践しようかと考えている先生は3番を押していただけたらと思います。職員の方についてはどうでしょうか。なしてよろしいですか。お答えできる範囲でお答えいただいたらけっこうです。

すでに実践してきたという方は半分近くいらっしゃるということで、これでさらに新しい授業なんかで実践されていきましたら大手前の多くの授業でPBL導入ができたということになりそうです。

次なのですが、論述式試験についてですが、すでに導入している、自分の科目の試験には論述式を導入しているという方は1番、試験の一部にちょっとだけ使ったりすることがあるという方は2番、まったく入れていないという方は3番をお願いいたします。

〈質問〉 レポートはそれに該当しますか。

そうですね、論述なので、文章で長く書かせるレポートか試験かということにつきましては、含めていただいければいいと思います。作品につきましては、作品を出した上で何か論述で質疑応答等を、文章として書かせているのであれば、ご指摘のあったとおりでよろしいかと思います。お願いいたします。

だいたいこんなところでいいでしょうか。導入されている先生が半分ほどいらっしゃるということで、論述試験の必要性につきましてはかなりお話も出ていましたので、まだ導入されていない先生はご検討いただけたらどうかという結果になったかと思います。

では次、リーダーシップのところで入ってきた話題なのですが、大手前のすべての学生にリーダーシップを教えるのは難しいかという問いでございます。すべての学生というのは難しい解釈もあると思いますが、素直に考えていただきまして、大手前のすべての学生にリーダーシップを教えるもしくは要求することは難しいという先生は1番を、ややそう思うは2番、難しいと思わないという方は3番をお願いします。

〈質問〉 「教える」と「要求する」のとは違うと思いますけれど、どちらですか？

この通り「教える」でしたいと思います。

では結果を出したいと思います。

そう思うという答えは半分ほどですので、リーダーシップについて学生にいろいろ伝える、学ばせることを難しいと考えておられる先生がたが約半分いらっしゃるということで、また逆にそう思わない、学生にちゃんと教えられるということが3割弱ということ。このような結果ということです。

では次行きたいと思います。

〈質問〉 1回ごとに押している統計、違いますよね。ここにいる私たちから見えないので…。

わかりました。先ほどの回答総数は約80です。

では次ですが、授業外学習につきましては、前から言われていることなのですが、2単位科目で週4時間、予習復習と授業外にしなきゃいけないと。だいたい半期に学生は10科目くらい取るわけですから、週40時間ほどは勉強するということになるのですが、そういった時間を取るということについてのアンケートです。

1番は全科目でちゃんと授業外で4時間取らせるような課題を出す、全科目です。2番はコア科目だけでも4時間きちんと出すべきだと。3番は現実的な学生と、授業時間外の学習時間を検討したうえで、コンセンサスを取るべきだと。一応この3つを分けさせていただいたので、該当するところのボタンを1番から3番で押していただきたいと思います。

またまたようなんです、今レスポンス72でございます。お願いします。あさらに現状では1科目で4時間与えるのは難しいということですね。実際にどれくらいの課題を与えるのか、またその課題はどれくらいの時間を考慮したものなのかを検討しコンセンサスをとるべきということですので、今後の参考にさせていただけたらと思います。

次に行きましょう。次は新シラバス案についてです。これまでの新シラバスの項目と比べて非常に入力する項目が多くなったわけですが、それについて率直なご意見を拾いましょうということです。とても良くなったという人は1番。まあこれくらいじゃないかと思う人は2番、とても難しいと感じられた方は3番をお願いします。

今73です。ではお願いします。難解であるという人が80%を超えているということです。いきなりこれまでという項目が増えたり細かくなった部分で難しいと感じておられることが数字ではっきり出たということです。これに基づいて検討するなり難しいのに慣れるなり、先生方でいろいろコンセンサスをとるという形になるのではないかと思います。

昨日研修の最初に配布された資料にOCDの冊子がありました。非常に熱心な先生がたですので、何度も熟読された方もいらっしゃるかもしれませんが、内容についての印象をお伺いできたらと思います。まず中を見てとても難しい

と感じられた方は1番。とてもというわけではないけれど、まあけっこう難しいと感じられた方は2番。わかりやすい、これくらいが適切と思われた方は3番。とてもわかりやすく書いてあると思われた方は4番。正直まあ全然聞いてもいない方は5番をお願いします。

はい、83人にお答えいただきました。とても難しいがほとんどを占めているということで、これをもとに、この冊子これですと将来このままいくということではないと思いますので、次の回に向けてこのあたりを参考にしていいただければと思います。この冊子をですね、新入生に配るというふうに聞いているのですが、その配布と説明についてご意見を欲しいと思います。

OCDの冊子を配布してC-PLATS等説明をするということなのですが、冊子を配布の上、きちんと学生に説明しわかってもらう努力をする、それが一番いいとお考えの方は1番。冊子を配布すれば読んで理解するだろうということでしたら2番を。非常に難しいので、学生用に簡単な資料を別途作り、それを配布しC-PLATSの説明をきちんとする。配布・説明の必要はない、学生が学んでいく中で自然と身に付いていくもので、C-PLATS、OCDは教育側がきちんと理解しておくべきものだという人は4番をお願いします。

では82名にお答えいただきました。はい、学生用資料を作成し、配布し説明すべきが65%と一番多いですね。ただ3割近くの方が配布・説明する必要はないと。学校側が授業でそれに即したものをやればいいとお考えですね。こういう結論になりました。学生にも今後配布されるということですので、そのあたりもフィードバック学生から集めて次に活かしていいただければよろしいかと思います。

次ですが、これも先ほどの話にも出ていましたがOCD到達レベル、レベル1,2,3とありまして、これの達成を卒業要件にするということになっているのですが、それについてのアンケートです。賛成であるとか、きちんとあししたものを達成したものにこそ卒業の価値があるという方は1番、到達レベルを設定してそれを卒業要件にすることは賛成だが、レベルについては検討し直す必要があるのではないかとお考えの方は2番、卒業要件にすることも含めて検討すべきという人は3番、それ以前にああいったものを卒業要件に入れること自体反対だという方は4番をお願いします。

81名にお答えいただきました。反対は6割ということですね。これはまた、卒業要件にすることについても学内で検討していく必要があるということがこれでわかったかなと思

います。

次が最後の質問です。もうすぐ研修が終わるということなのですが、この研修を通してC-PLATSへの理解が深まったかということでございます。かなり深まったという方は1番、やや深まったという方は2番、あまり深まらなかったと感じの方は3番、全く深まらなかった方は4番をお願いします。

84名の方にお答えいただきました。やや深まったが一番多いですね。かなり深まったとやや深まったで6割ほどになりますので、研修を通してみなさんと議論された意義は十分あったかなと思います。ただ、あまり深まらなかったとか全く深まらなかった方もいらっしゃいますので、次の研修の内容の検討に活かしていいただければと思います。

アンケートコーナーは以上です。研修を通してみなさまの考えはいろいろ変わったり新しい発見等あったかと思うので、これからのOCDあるいはC-PLATSといったものの議論に前のデータを参考にしていいただければと思います。ありがとうございました。

